

科目名	子育て支援		
担当講師	太田茂・田子文子	実務経験の有無	有・無
授業形態・単位数	講義 30 時間・1 単位	開講学年	2 学年 後期
評価基準	演習課題(50%) 試験 (30%) リアクションペーパー (20%)		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育の専門性を背景とした保護者に対する支援の特性を理解する。 ・保育者の行う相談、助言、情報提供、行動モデル提示の展開を具体的に理解する。 ・保育者の行う子育て支援を、多様な場と対象について展開できるように方法と技術を理解する。 ・具体的な場面を設定した事例を学び、相談援助技術の活用方法や子育て支援の実際を理解する。 		
回	講義内容	方法	
1	保育者の行う子育て支援の特性① 保護者への支援 保護者をコーディネーターに：相談支援とは何かを理解する	講義・演習	
2	保育者の行う子育て支援の特性② 保護者との相互理解と信頼関係 保護者との信頼関係の形成：相談支援の原則①	講義・演習	
3	保育者の行う子育て支援の特性③ 保護者のニーズの気づきと理解 保護者の様子や会話からのニーズ把握：相談支援の原則②	講義・演習	
4	保育者の行う子育て支援の特性④ 子どものニーズの多面的理解 子どもの様子からのニーズ把握：相談支援の原則③	講義・演習	
5	保育者の行う子育て支援の展開① 子ども・保護者の状況状態の把握 事前の相互理解・状況状態把握：相談支援の原則④	講義・演習	
6	保育者の行う子育て支援の展開② 支援計画と環境の構成 支援計画の考え方・計画づくり・実践・評価：相談支援の原則⑤	講義・演習	
7	保育者の行う子育て支援の展開③ 職員間の連携・協働 保育者同士の連携・守秘義務：相談支援の原則⑥	講義・演習	
8	保育者の行う子育て支援の展開④ 社会資源の活用・連携・協働 社会資源とは何か・その活用・協働・開発：相談支援の原則⑦	講義・演習	
9	保育者の行う子育て支援の特性 1 ⇒(子どもの保育とともにを行う保護者の支援 ・日常的なかかわりを通じた保護者との相互理解と信頼関係) 保育者の行う子育て支援の特性 2 ⇒(保護者や家族の抱える支援のニーズへの気づきと多面的な理解 ・保護者が多様な他者とかわる機会や場の提供)	講義・演習	

10	保育者の行う子育て支援の原理 1 ⇒(子ども及び保護者の状況・状態の把握支援の計画と環境の構成 支援の実際と記録)	講義・演習
11	保育者の行う子育て支援の原理 2 ⇒(評価 カンファレンス 守秘義務と説明責任)	演習
12	保育者の行う子育て支援の原理 3⇒ (職員間の連携・協働 ・社会資源の生活と自治体・関係機関・協働)	演習
13	保育者の行う子育て支援とその実際 1] ⇒ (保育所等における支援・地域の子育て家庭に対する支援・地域を舞台とした子育て支援)	演習
14	保育者の行う子育て支援とその実際 2 ⇒ (障害のある子育て家庭に対する支援・特別な配慮を要する子ども及びその家族に対する支援)(子どもの虐待の予防と対応・要保護児童等の家庭に対する支援)	演習
15	まとめ(子育て支援は、保育者に求められている大切な業務であることを理解する)	テスト
テキスト・参考書	書名 (出版社名)「幼稚園教育要領解説」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 吉田眞理著 「生活事例からはじめる子育て支援」	